

目次

□巻頭言 協会の35周年に思う……………石上立夫/1

□社団法人日本建設機械化協会の事業活動
 社団法人日本建設機械化協会定款……………/3
 各部会・専門部会・建設機械化研究所の動き……………/5

□創立35周年記念
 本協会の動き——54年～58年を中心に……………津田弘徳/21
 建設機械の需給と開発の方向……………田中康之/25
 建設施工と機械——5年間の回顧と展望……………大蝶堅/29
 最近の建設機械の整備の動向……………森木泰光/33

グラビヤ——最近の5年間におけるビッグプロジェクト

□昭和59年度官公庁の事業概要(1)
 建設省関係予算の概要……………清水郁夫/39
 蔽木ダムの施工計画……………秦工藤保之至/43
 葛根田地域での地熱開発機械の現状……………工藤聰信/49
 四国横断自動車道・明神トンネルの
 SEC吹付コンクリート工事……………小原由幸/55
 真喜男

□随想 マレーシアを訪れて……………青木浩一/60
 齊藤隆
 丹後勝弘
 本石正夫
 井康夫

北神急行電鉄・北神トンネル工事の現況……………/62

低騒音型建設機械の指定(昭和58年度)……………建設大臣官房建設機械課/69
 骨材生産工場見学記……………施工技術部会骨材生産委員会/74

□新機種ニュース……………調査部会/77

□文献調査
 測量機器の応用分野/太陽熱・太陽光の有効利用による
 省エネ設計……………文献調査委員会/81

□統計
 建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
 ………………調査部会/83

行事一覧……………/84
 編集後記……………(渡辺和・飯田・今城)/86

◀表紙写真説明▶

CAT 980 C ホイールローダ
 キャタピラー三菱株式会社

980 C は 21 世紀の設計思想に基づき設計された大型ホイールローダで、砂利、砕石、石灰石等の現場をはじめ土木、荷役作業に至るまで幅広い現場で活躍している。Zバーロードリンクケージに加え、強力な油圧力によりバケット引き力、持ち上げ力ともに一段と強力となり、あらゆる作業条件下で高い生産性を発揮できる。さらに、オペレータ環境の向上にも重点がおかれ、防塵効果が高く、騒音や振動が少ない密閉加圧式キャブ、快適な運転環境を保つエアコンディショナなどを標準装備するとともに、シートはオペレータの体格に合わせて調節できるサスペンションシートを採用し、疲労軽減を図っている。

◀主な仕様▶

バケット容量……………	4.0 m ³
総重量……………	26,050 kg
定格出力……………	274 PS/2,100 rpm
ダンピングクリアランス……………	2,945 mm
ダンピングリーチ……………	1,465 mm
バケット引き力……………	26,700 kg